夢感集 上

九曜文庫

夢の世とおもへばみるも夢現[illegible]ハ一日のあだ[illegible]
ことさらもおもハ皆菩提之種之いずや比丘未来
之説なれ乃実を然わすれば古きをとらずのわすれ侍しく
生死をはわすれぞ流転しくかりの人ぞ入るべき
さ流をなかんこの本来残ほとひるの林に入
かぶだれよりまて生とうした死と十二因縁
に流転ハまりなりかるそみれ人と世い流て
にあとわかた流けてそう説つれそうれると
一生ハ流れれぞの在をハさしに侍るづ人一家ハさ
久一家ハ利と流へるのしとうれてもわが床まの

愛してふすみのことく慈悲之深ふかくして見るにつけきゝにつけを
れ無こゝろつくす事なく之時ハおさなくてつかうまつる
河之ふかき事ぞなく人をあはれみことわりをさとるべし
みな情ふかく人はこゝろあつく其心をおもひはかる事
まことに諸人死ることは知て論こゝろ有しるよし諸人
死ることは知て論ことわりハいつれも悔ぞ深く諸人
死を高来がことなき人こゝろへとはかぎりなく事も
武勇之上ハまさまさ人民おさまりて家をすべて事すに傳
なしのけば名わきまへ候古代あは仁義礼
智信の名をうし言れで智人　其

名宋代長くうせ民おさまる事なく之孝くさには仁
義の名識ニ文章をまなびんには恐しき名代のうし
高識乃らん之道あらばこゝろにとゝまれ仏とめぐ
みまさけとき然ること義ニ心なくしてハ仁之名もけ
かぞし又此うは仏めくりてもまゝさまへされハ義
之名もうずつる又人をうやまひ恐なく其
さとも行し然われば礼之道をたりてぞしつる
くおうまずとき礼の分別意なく智のこゝろ深
之智の名もうけわざし又識なくうりあでいふる
心ありなば信之名もうけわざしんばよくれそみるよ

いまそしめさん御世をとあるひ子をとられしみやこ
いのちをうけ候うしぼましゑ人の事ぶかしく思召
自父子これ候見君かしゆへのまじはり意識おつく
まつりまつらせんしたなくしんぱおのれ道もたがへ
らめとゞへくたゞ人の心もゆくつらりなつ
のたもつべうじく志やくなはのかし及よみはなむよみん
とうせ冬のにそえとむものりしおおく志る言よまと
もれたる風吉花のかをりをとゞまれらめけむ
まさきんとの葉は心をとりよりつ風情つるみ於
りし花の漂ひのびとそろ本[illegible]ましあり

志ふもしべうするはかりかれ[illegible]とは
あさんことさとまれも此春かけて咲なむ
し難波津はの哥はもとつしきのりこれ代を
あさかやま採女物かたよりまかさかりき
ちちははのかしこきのことばをなをめてたれ
まなびしとまのちまのきよらかにゝ帰るいもと
の世々のえに庭となりまとかれぬ春ことゝ冬の
ありめつるむかしはまの御よの國はいやさかし
物しなく更に粧みつるやはかつて早とまる
也咲ものゝ冬はめでし春の花しるよみなるらん

ぜん一切わるい子金こんとりかえて
一時としの見えぬ月こそ見し法華
のかりうとわりさわりぐ障でちのめにみる
子たの時はいろひ秋ゆづりこそとぶ
見えいろろ八月の秋を初みを月こ金
うきもやいさ月のたもとの月とこ
ちてみりのかるいかりて人こうえこ秋の秋
さきなかうこ出こ初もわ出ぬ秋雷雨
雷とのこつりれこわり年月こ名のこ人
を白秋こ言わり出ぬ月の秋ぬ秋

むかりうこんかれこ年こ初ぬ乃はぬ
暁方に秋わ秋いこ秋こ立こかこね年こ
かりこ秋わ月白時えうりかこと秋はれ
金秋と秋生信長織こ白和こなこ秋こ和秋
塩りこ元門こ事秋なる白ひと来色ぬぐうり
ちこ人こと秋こ根ここ塩色乃ぬこ芋之業
ここ秋秋こ一つの月之やこれと白こうこ月
白こ色こうこ秋こ秋雷雨雷雷こ秋こつ人
雷こと出こ雷秋こうこ月こ人白こ秋
どこ秋月こ本雷こ数なん雷ここみ

抑これ古今諸人ニ知ル所ニ数々をとるにかうう
ちん無常ニ移る身ともうしにわれん物のあかしと之ハ
春の花秋の紅葉と知テねむ花衰ニさきけるしかりけり又
西ぞかひ月を迷ふかけりし三文秋ゆ之ふさしなさる
月をみる物のハ云うれるもの月をみすがもるへちこえた
のごと成クとなるぞ大江之千里之ハ月みれバ
千々ニ物こそかなしけれト秋之哀サハ身より春言哉
占けれども云うつまれ世のまぬ無常てん尊んし比り人の
哉事路ふ教ト悟有ん人ハむん殺多さ訪れさみてかく
ちる是ハ人ぞかへ悟を抱てきうつまる事も身の無常

とゞまりゆくわかれも哀ふかきものは世の人之心ハ知縁
りゆく人ハ無常ハ出来よまるにさへミうりかて
いる色にも秋の色をみても我身の無常かなしれ
れうり始まるハかりの無方事も路縁より生ど
縁に在るがひ臓ニ決そふれもこう紀世の有様至
なき身ト目ニハいそぐ行ハ常住のおびにおしれ我ぞう
かる無常の出る所ハまのこにらすみならぬさし人ハ能支色
それなくうまでなお人しうもにしきりて更しく化
去月まくわぶうる身とハかげ四れたる云の殺を
るあれでおけじ云ぶきさおまどこれわる

高きもいやしきもしらでくるしむ身に志あるものは三八つき
やすのまもれるものはをのれこそまさるの心ありけり
世はかぎりあるものなれば義理をしりて人の心
をしてかうひとも志をつくしわりなき世の中
之をひとつにまもるをとなへて後は万事を定れ
身をつつしみつつそのもとをしらべにしたがふて志す
まづこのうちに心をつくし人ははしらざるべき
しう法をろかにしるべき人はまづしめてはおもにおとる
うとをかたちとしても命にしてもわかき例しなし
のかれを忘れつつ其の世にも身をおもふなり人は

身をたもちがたきは　うるなり
身をかためてゆく上はつくしくる人もなく
ことおりのまことにおもひしかれなり世をすてまり
その身をまもりとしてそれこそ人の世のかなしみ
世にそまりてもおのれにまかせをもすてる
やうらかに人の為となさんとおもひてきしなざるべき
人にたつ世の義理の道をとおもひくたる
ふけまわる人のけしきとのことわりこそ
これいやしきは人の仁義之事をかなえてかゝはゆく
のまつりごとはおろかにならんことをまい

わかきによらず何事もどんな事も心得て聖
少将の酒のむとも語にあひたがひにいさかひえた
らば知りまするとも見てもればはなん程のこと
ふるこそ心えてもろ人をわするゝかくすぎぬれ
き病ともなりていなり滅亡させ酔然
まばいさかひとまゆることもじんの怨し紀悔ある
まひとなそ後世の酒は見苦しくも紀に告げ
なるとそれらぶれ無礼をもうけしあひ人死
心ゆる所の本性をうきぐ少なり仏をもつひろ
内に入りてはつゞれ人多き滅之ゆへんなり

さもあしき酒に酔たる人は方大慶云獄
のさまにかなしき心をうつし見るにまさんのこと
以て悪道に落ちて罪に罪をかさね
まづゆるされぬ語のをかしの名利
ものとしらざるかゝる人まで菩提の正因を
なす事は一字をもつてしし天台に云り煩悩
之山之項ニ有薙留智恵之活水 名聞利養之
嵐之前ニハ慈悲之燈易消亦云ク呼ヵハ象ニ名ヶ
国之東ニ渡ル衆苑之大道ニ今ヲ象ニ火車ニ赴阿
鼻大城之獄ニト云リ賊ハ其妻ニ酔テ失ト正ニ

論ッ現世之んなハ殺生をなる也ハ必ト云リ神明三宝仏随モ
名利をもとめひあり名利とらハ言語之罷ぐろくさる正
法会法ハ言語ハ才一之也能繞ノ大海ヲ況や言語繞ノ人ヲ如
繞ガニ非也人之草木ヲ仏之いましめまつる名利ましと錫
久之不明ニテ悪業非信ッ小癡之志ろとぶべきなり
財寶ヲしるゆり衣食之いりとし一旦之身を
青ニハ動四生悪心ヲかうがへゆゆをとも生一鶏之命ハ
夢ある世ハ修ガ善行なん三宝ハ諸菩薩之ざれとも
ろねく浄土を求ぬてひけらくいわがめずしそ生ッ
ひさけり死をかしみぬよりまりをハしあり

のとしまとわりてあひわが人ハ命をおしみ世
をすてさげるなそらずなりけるおよそ八十年
わすぶべき月日のごとく小教も流れまでも一年
となるかならずとかくふ人子生死とよろひがる
ともなく一時に夢なりの又一生をとも尽月か
己千生死の後がなとなきん人くなぞくぞく
ありきがなりひろ世なりせばよろこしとし
ふ人しつかげつのむしりよりのしこれ人の
ひろんを別ゆうありはのりしにえとえる
げそろね世の人をおとどがこれをかよあり

[illegible]
[illegible]
の人をもつかまつりみやびをうたしりの人となと
[illegible]
みはをあつそかうそ海ゆく舟のつなでかなしび
[illegible]
[illegible]やうくとかりわびしうて大和新二
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]
ねぬ君神かを表とかりもを男女の仲をやりて
をうけうるゆゆしんとをうぐさしるべ所こを
古今の序あるうけるこ対ぐるを書こうれ行れ
[illegible]
[illegible]
詠吟の人をの情能なうる所新人し吟ぜしうの
みりぐこ文をもあくを平城天皇の御宇で遊五元
[illegible]
[illegible]

わくはあきはあわれなりけるくらもむまきこうこれ心者
ゆ入あり人をえをえ[illegible]ふ[illegible]ぬ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]
をつもれるうつるはどいとけ〳〵しくこのをゆ所の
ものこころくまいるうたて心ゆ〳〵ハをこ所
ゆうゆ七ゆ七をのうゆこの文字ハをこ所ゆ
神代ゆをふゆるまでゆあるこをくゆ人こ
仏をやつけ神代ゆゆ人こ世こうゆて世この
所人をわゆこ風俗家このりをわをびゆをを
まりをゆるゆの海ゆこの月こ女をの〳〵ゆ人の名
ゆあゆむこみやゆこ世井ゆしゆゆ

をもゆつをむこうをのをげきこうこ
ゆこ海の和をこうの[illegible]こ海したひろゆ
ゆるをのゆゆゆゆなく女者をたこ時
うゆこうゆたゆゆ[illegible]ゆをのみゆゆ
ををゆゆこむゆ女ゆにをまゆゆどうをの
ゆこをえをんゆゆゆゆかこをゆゆこ
こゆゆこうゆむうこゆこんこうこ海をく
こ海ゆゆ中ゆゆ和所乃こをゆ海く
くゆゆゆんゆゆゆに世井ふゆゆゆこ中ゆ
こゆ世の義ゆく美ゆこうこゆゆ

日をてらしてなれ人に和歌を浦さんとよ
せて月のゆくべきものわたり心と思ひ和歌
をぎんしたこれわれ面白き気対文をも
うらすべしれうんこれ和歌をもりくゆん
と時をうくのこゆわかより千安一夏月
云ひなれなくて見ん事ことこれいまを和
をうまくあくを忘屋をくうけ知りうる
源氏物語ふるの古れ和歌ことなるなる色の
をすうをうを人物語ふ和歌をあるくに賞揚しんをうを
云葉ゆゆをんをりしたる義知り遠別を

く文殿より紀貫の賞し紅文藤義のをまれ生花
を見ぶ上ぶ者り生花ふ浦ぶ浦ぶ浦ぶ浦ぶ
浦ぶをんを遠の物紀うをを実和文和風
わくゆくを方星文ををををりをを知ん月ゆう大合
星宴門心者文名ぶり有文不二立中原法安立
並質早宴ぶりをゆへいをを来武を
とをを人ん伝やりげ文章賞揚をを大ぶなん
物和ん浦の浦ん美浦ゆくをたんをを法
云ん文を法をを物をを文を人ん心
ゆををのをををををををををををを

はかられてさまざまのことをやうにてひよりみし人にあく
かじゝ海ところ心之古人しれてくみて其和なかなお經ニ而
言い光利定恵之二法天地ニ二現之三寶ニしかた
て遠のおハ三義三疑ヲ捨ト心悟之おハ三般ニ三德ヲ
病ハ病トさしく人かハ人のし是苦ハ苦ヲいしふのかなし又合ヲ
よりら六義ヲふさし又依六根ヲ教ス九界十德ヲわくうけ
九志ちハ尊十方十如ヲ教ス九一字ハ如来之れかくヲ教ス
されハ爾ニ律の出し難波乃ことおしなにはのよし
かりのみののりとそ（九一字ノ文字也ニ表す也法性随縁ノ月高ノ也、如ハ仏性ノ心）波ホ来たれ有し一法よりわれ
まば心法みけおハ吹風之波ニ喜怒さらのこと空也

空六無二弘現と一しくあやまし寄恵現法現ヲ
見と声ゆげりしまなしわつれきのや生死得精ニ
身のまハ心之本源ヲ忘れかれハあやしかんヲかしくいし有
利人之業をと知ス出し妙く苦縁と逢か離之密法ヲ
空ト又大空にさつぶ物じしてふしや法花ニ洞ニ達ズ
生と世てになれわの物得之てのわまぼ帰也し葉にハ離
味に人し底に結ひうり顛倒之人のれハ無常無我とも
りひのと月おし煙流に人うかれて謂ハ無常之執見
之世まなこととおもしど有為し万法ハ無常ヲ植な
只し威ニ念法ゞ物と迷ニいりかりくハ寂滅無為

之利ヲ叶不生不滅ニ入ルトハ申ス事之諸仏ハ切法空寂
ニシテ者ハ有縁ニ仏ハ有生深ク念ヒシ慈
力法ニ寄テ示ス諸仏モ亦ハ有ごとし隔とのたま
ふ衆生ハ云為浪繁生ニ業報之差違ニ引ルベキ
ヲ云為ニ法ハ不ハ変ジ有ルコトヲ知ルベシ
ヨ色相の差異ヲ云ヒ知ルニハ
ビ云ヒ云為ニ有ル因縁ヲ知ラマヨトヲ知ルの
きこれを知ラハ有ルコトヲ知ルベシ
ニ云ハ一ヒ心ニ心ヲ知ラズ
くさんニ法ヲ知ラハ

衆生の心ヲ知ラハ
いきべきことを云事ヲ知ラハ
ちぐ一ヒ者ヲ者の
ヲの弱ヲ知ラハ
ニ云ヒ上ヒ知ラハ
事柳ヲ
ら病苦ニ
りしヲ
ヲ生ヲ
実概六趣ニ

好きされて安生をこもり叫みて弘願を信じ
念をとりてとりてもばさぐんて現其人分し無量こと
て仏い来迎をまちんれらくて一定なしれいうんぜ
ぞ臨会で往生ぜんと思ありて左をこいんで六字名
号唱年月をおくりこうわり命尽て四念
の花を極くれのさんげ無しそげつれ
べきあるようでいとへくまうえんげんを刹那
りけえんげつをいはるがてひつて作れいこう
くわくこうくこうひさんげをたべきこがこうり
がとえんげこんりつて業障と懺悔心地観
法で八五部くしたいくりんのふと同をまもくたり
世ゆとうえんげとれしだわ命る妙悟皆識を尊
業障を知れくさんげとれの私と大意法を尊
えんげとれでよくかくて至百よと右ま事でも
五ゆうぐのせ法生ば大海をと妙法ゆつと百よと石
ここうさんげ五ゆうぐこうとよりりわくこうり
わくとえんげの五ゆのれて業障と懺ゆうべき
と云りえんげん弁ゆ有れ之れえんげを初め
まりまつ有れこさんげんを法生死与法門
つとをとりくやこれわくいかるで安りひきんげ

ほとけとまことのえんげトいうれみをたれたまうんのトハ
一切業障の海をあらわしおこしてもろもろの生ぜしめたまう
ことをなしたまうえんげトいうりきなり生ぜしめ
ほとけ業障はりきなり千年のあいだ
たまうんげんなり出入われ生死に回さるれども
ごうりきたまうなり出入われこれ今世の
えんげんなり出ことはけわるばかりなり
恵げーのくうりきなり
こころもれぬ妙法なり衆生
の恵かてもばかりくうりきなり

ほとけ法身なり一念発心のときの人は月の
光りをあるがごとくなり毛仏性具足するなり
ゝ但聚沙二切衆生悉有仏性トいえり仏性ハ悟ルなり
形容事理ニ業因ニ引ハレテ
凡夫ニ高ク上ル
仏法海布の恵みなれば
せんぜんに林下にくるひるがごとく
自力ではとけなんぞ上根上根の
衆下根下根ありてあるべしつぎに自力に持戒清浄
不成就ほとけえんげ法不若ニ凡夫ハ戒定

恵心も清浄の信足ありし聖衆にさうしなれと自力に
ゆへとも我かみのれたびみづからの誓ひに出ば智恵
と智をかへし上根下根所行にしたがふて人と三業
所すなる人かあり然るに業障と勝ぶ申さるかと
一念十念正往生スト教說し金言之又往生要集にも
時処諸縁を論せず浄土をばまなし往生を求めけるに
其余の外へもたびはうりの念仏をたくいうしと奉る大
師ニ一切稱念是は別所勧してつくとのかくト五十劫
一劫得往生乃至一念無有疑心ト教ニ見りまた一切の
異見異学別解別行ニ人の動乱破壊せられざ

ましく若智恵百千万人来りて経論を證とし引て一念
一切之仏支念仏なく往生にも障りし此の事ストいへとも一念
ニ疑退之心を發もべからずトて恵福地十地之菩薩十方に
ありてのるり文化仏報仏なくべからずとまうらこ
らんぶ百と我と生せずストのまゝて一仏之說一切諸
仏之說ニ同ニ一切諸仏證誠ニまし行者の仏あり
うのるりとべこて退スル事あるにしかし在り
教ニ見りあらむとてまさ一切ニ仏經ニ金剛
如くさ證ニ依せしハ事と信スハ六方如来之のへ給ふ
苦一念にもなかりてまくにト捨るへストテ信ニヨラ

ニ生ントテ云ヒ方ヲ〻ヘシ弘仏
御名ヲ唱フルトハ大地微塵劫ヲ超過スル罪ヲ三途
ノ苦ヲ離レベシ仏ト教ヘ給フ事ハ重罪深ク厚ク因縁ノ有
ル名号ヲ念ゼン者ヲ無ント誓ヒ給ヒシ方モ万善ノ果
徳ヲ施シ自覚ヲ施シ覚ヲ備シ一切ノ人ニテ
名号トシテ生ル〻ハ永劫ノ間ニ一切衆生ノ
清浄ノ化ヲ蒙リ給ヒシ方ニ何ヲカ加セントテ生ル
生死ノ苦ヲ厭ヒ浄土ニ往ント願フ人ハ一向専修
ニ念仏ニテ往生シ給ヒ如ク仏教ヲ信ズル不善
ノ者ハ衆縁ヲ具ス空地ニ計入ケ〻ツトナ懐ト
ス教ヲ学ス

強テ若無生有ニテ彼ノ生セントヲ願ン者ハ三
種ノ心ヲ発シテ即便往生ヲ願ベシト至誠心深心廻
向発願心ノ三ツノ心ヲ具セバ必ズ往生ス
教ヘ給フ三心ヲ具セバ何ガ云ヒ往生ノ
妨ケニ成ラン〻ヤ是ハ只ニ往生ノ
勝ルトヲ云リ恵心ノ僧都ノ往生要集ニモ往生
ノ業ニハ念仏ヲ本トシ給フ善導大師ノ釈ニ
ハ念ニ一念ニ往生ス仏ニ依ル念ニ命ヲ
ハシテ終ヲ期シ一念ニ至ル〻ヤ〻ト云ヘリ念
仏不捨ヲ本トスル仏ニ信ヲ一念ニ入レ

祝ぎもぢと秋とを人いうづく拾ル大
事をなしうくしゝ元べきことゝ
をなとそば名利のそもを少く拾遺ゝ
してさなく拾ろうれまうとんを表ゆて
世の智ゆをあしびせとよりてゆ
名利しかんのをなれ為ゆをくとうれうとを
名聞利をゆを心しうれかびの正法とを
ゆ拾ず一生やをくうれゆしくゆ拾れる
人しゆゆ乃子拾ゆしゆが少人ゆ不為ゆ拾ゆ
たてざゆかゝびたゆ人子ゆ子ゆづり子孫

さうんゆ拾ゆしゆゆを人ゆ乃子ゆうたうて人をゆ祝
のゆをゆをうゆを拾ゆ人ゆ宿をゆうを
ざをゆゆ拾ゆをゆのまゆゆうゆ拾ゆをなく
乃ゆうゆ為ゆ拾ゆに為を遣ゆ拾ゆ赤ゆ
き山ゆ乃ゆをゆゆゆ拾ゆゆ赤ゆを免
ゆ乗せゆて人ゆ為ゆうゆ為ゆ拾ゆゆ拾ゆ
ゆ拾ゆゆゆゆ拾ゆゆゆ拾ゆゆゆ拾ゆゆ
ゆゆゆ拾ゆゆゆ拾ゆゆゆ拾ゆゆゆ拾ゆ
ゆゆゆ拾ゆゆゆ拾ゆゆゆ拾ゆゆゆ拾ゆ
ゆゆゆ拾ゆゆゆ拾ゆゆゆ拾ゆゆゆ拾ゆ

らひ或ひとたびの人に二心を生じ
しこころの為にとなりて為人をわきまへ
ひとをとがめこれをばこれ人をのひがめなど
為わらくなりこれらくなれんもづくと貴賤を
をみこれ為の世仏一切衆生を一子とごとくわれを
をこの法華経に今此三界皆是我有其中衆生悉
皆吾子とのべまつり五如来と仏世をあらく
をしりんこれをこれ人をしれ之なりこれて
なりへいたびひわまばなしまいれ生れうけ
者をりだ高くまんのうなることをなりなり

仏まの在をもりぜんへ心をれ仏ありて家ひかり
学の為仏のをこ者にをみ礼義をまんで貧なる
とうやまい者を仏為にこをもれ仏ばをたに我
じうぶ者へ仏敬わうへくわぶりをこれてあれ
仏し見仏ッ者しりて高徳ッてたれこびひうづ
四為をかをもうけをこ義徳の人をれ人へ
訓為の学をとはを仏人をうづ仏をるをれに
高留わりへ訓へ者を知ス人之魅と申りれ
為学をこれ者の加まれをはて礼義ををけをむ
学ばれく敬なく家留をを教わりへばれん

まことにいきほひとして手をおりけうれ
ひとをとりあつかふ時分の
様を知れば我と身をかへりみる事なく
りきみあがりのまし高ぶりまつを知て謙
きんそんをつとめとし高ぶる法之意世に謙をもつぱら
意とする謙とは何ぞやと問ばこたへていはく
高ぶれたるこゝろざしをのがれ我慢を起し
ぬ方がたん着こゝろ自ばうとしてゆんぶをもつぱら
みずからをもつて知ハ人間に和をんをもつぱら和ハ
こゝろをもつて思ハ三毒のけがれ

とみづからをなきものとなす人にはよりわるしハ
つのあやをはなれんのりをもつぱらとしてハ
十悪を夫とするこゝろじんのそなへ悪事不
つまびらかなりといはゝ人をばはなれ善悪の門
なり言をもつぱらいのつてをりをしへ人を善悪
のちりにしりぞかへんのうを知こゝろを
善悪をうつ分まのうちにたゝうべし
ちづきをそなへたる和わる人なり和
をんゝ謙をもつぱらとりづゝ代を
ぬとをもつぱらとして和漢乃

されバわれ〳〵ハ能かなハずんバ、そのことかなふ
かりそめにもわするゝことなく心にかけてこれをつとめバ
且誠をもとゝしてつよく志づかに是を忘ハ誠をもつて人の
情をもとゝしてうやまひかゝるをもつて[illegible]かゝ
勇をもつてするときハ智をもつて此まゝにおさむる[illegible]
なり。誠をもつて誠をもつてうちこんだる人の心いる
ぶようにみごとにしてよろづ智者ハいまだ勇者ハかくれ
むかしより誠に智わきまへバかならずたゞしくしてあらハ
されし智恵ハいかなるたゞしき智恵深能
なれバことにわかりてくるしびハするとおもわれ

ハ知ハくわしく仁ハあつく志づかにして武勇の人ハ忠をもつて攻
まよハず命をもかへりみずわきまへバかならず事もなく
勇者之明なれバ世に諸人も世のためになる事ありて諸人
之仁也。もつて兵をもちゐんとせバ命をかろんじみよく深ク
天下に名をなさしむる人也。帝有之以前孔子まん十悪さりん
身をまもれバ六塵之為に迷ひ六根に罷成り日にあれ
且ツ是も現之仁ハ[illegible]よく〳〵に悩まされ
仏之宝ツうやまひ利しくのことハおこしてとく令也
わきまへの命をまもる心をよく〳〵心してみちを悪ち
仁勇に従ずるをみをすりに礼勇斗ツよりしめんとなれバ

さて深く一生はかなびこれり仏祖に奉当一法こうびし
まして所生の法門は仏法大師之法門なれば仏法とうし祖
師と所生の無住しるひと始五初し宣若多の勢や
強と公義と世にいシ西ヲ常ゑくごうして元門のなんデ
百丸神の前之多のなんかく長世ひのきて
祈りと祈しくべくなんと心とちの仏
主ばんに如なしなりて新しくのちあよ
うんぞ人世わるをみんるの力まれッこあんデ
わる利のうあ力は金浪の仏平庵とと前
けまでなの世こびたひこうあ力は義ヒ志

切みげのたひいうしく弘法大師之法門名利と
十金いてるびるずるとわり若根之事流を
法のとうひうとヒ所りて人い名聞利まの
実者と立しの世ひかりく貴花之立ひう新罷
無生死こうれい前業と童きはて仏法と学世
ゑどと仕ようく実業ヒ実ノ的と国源有ろく地りい
うぐくまりしく人白しうこの前業ばり学さ
ちまりぐさをうこの人的言石ゆうとく世ヒ源り
ず仏人世こりてうこうとく法世ヒ法の花
物ゑと業と兵ノと主心ゆうく法ヒ法ん仏法之仏

まことにはかなきこのよのなりはひ
なんどさらなり商業つくれども
しるかしれぬる深ごとの身をもしらば
無益なるべきこと
こころをつくしたくはうまく
こころをつくしたくはうまく業にいれ
ものをいとなむこと
はかりごとをめぐらすこと
はかりごとをめぐらすこと
しれものしるときは
しれものしるときは
ぐ海士をしんじ生をすてて利をもとめんこと
をもとめんこと
なかれ

無用果自業自得之石地獄ぞくのごとしとそれ
の初人ふしてこれ人子是也之万ぶくのいとは
梨子和こ若ものをもしばらくこの栄をもて
ぐこあんとはいまだせんやそこ人一生念仏ものも
とそ信心生死こ悲ぐくこれ愛こ万ものと
うこうこうこうこうをいとづんやこ為
常住こ楽をえんぐこあんぐ的為こ死若
生ぐんや若ものをいとえて永劫こ若
果をこのまん為ものれが為こあぐんぐものれ
いとんで無為をおもしれけんん利益こ元楽者

もとよりなどと申しけらくとは申すべし一会の若
とかたりとは人仏仏初心菩提を
化しあわれんそのうれとあるさいわんの業
授記時もあり〻家深乃至福田まったくもって
とわいかる仏三宝之福田まったくもって
水りうかりいかるべくの菩薩とうんまれと
生死を知ることをこれ仏力家にて
恩を者ども〻深土に往生をもって生死を
のり者也仏法のとおりの在こと遠難しと
往生の法門のとおりの者ども

死心者もとより人会仏之心はんとまく〻うんい永往生と仏
心変生者ありとうとうべきこと必ずなんぞ
未遂わづかり三土之功無遠仏入ぞと云り
ゝ大悪大罪の往生願生を願ん因縁ありいかい悪深き
此人来の悪を云ありこれ生死と家とおと
云ひ定業を命終仏往生ハ菩提之人仏
七変生者〻名号ッ摘せハ浄土にしむのかよう仏よ
こゝろ安心信初之浄土ありと仏云ハ法性の清水と
為なれ仏法のとおり死のおとり死よりもとおとり命終
ぞくもばかり如ようの記仏ゝ者心ありくく如

[illegible]ばん又往生をねがふこころをおこし
[illegible]りと知ざるなり[illegible]分の[illegible]
心をきはめ[illegible]わん[illegible]
[illegible]くして往[illegible]
らん[illegible]を[illegible]
[illegible]と永劫生死をへんぬるまわるべき[illegible]
[illegible]のなりひさ[illegible]
[illegible]ひとをもふ[illegible]
[illegible]方法[illegible]なり[illegible]
[illegible]

が別の心をもて[illegible]
[illegible]念仏[illegible]
[illegible]
[illegible]

大業拙し心にて紀の山[illegible]方をもざ[illegible]をこ[illegible]
のこて[illegible]遠[illegible]のこ[illegible]んのなとかう[illegible]
[illegible]ぐ[illegible]もくゝ生ち[illegible]ど遠吹の二けたた者
[illegible]生ノ方[illegible]ぐ[illegible]ト[illegible]り悔過し業をする方ハ祝者
お新し添ノ[illegible]ぐ[illegible]ト[illegible]ものと[illegible]わくとすぐ[illegible]の
[illegible]ふい[illegible]ノ[illegible]りもれ[illegible]命と一生[illegible]
[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]
[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]
[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]
[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]

[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]
[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]
[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]
[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]
[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]
[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]
[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]
[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]
[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]
[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]

此宝を おべきなり 戒定恵と三学の
なれば 大日如来の 三昧耶形 なるべし
く 教授 八 為 如 説 修 行 と 説 給 て 家 代 に 大 日
如来 と云 大 教 業 力 に 三 学 に 力 を つ ず め 給 て 一 切 が
ほとけ に 一 切 の 衆 生 を 為 に 成 給 て 寂 光
の 浄 土 を 求 ル 為 に 三 界 の 宝 物 如 此 宝 を
ぶく 為 に 求 ル 為 に 不 白 天 人 に 成 ル こと
法 華 経 の 心 に 成 ル 正 法 念 処 に 留 る
ば 人 に 成 ル 故 に 経 に 元 亨 天 之 ト 云 ふ

けらく 之 を 成 ル 法 華 経 に 説 天 之 ト
さりとて 為 に 成 ル 時 大 菩 提 心 を 生 ズ ば ごく 之 在 菩 ト
云 れ ば 菩 つ く メ ナ 六 ク 一 つ ト 地 獄 の 苦 を 為 ト
二 界 に 二 天 悪 鬼 天 を 為 び 之 業 に 為 ル 為 ト 乃
至 有 頂 天 と 法 華 と 摘 ル と の 給 ズ ト 云 に 人 や ト
界 之 人 乃 老 病 死 の 六 度 に 生 老 病 死 之 苦 を 別 離
苦 怨 憎 会 苦 求 不 得 苦 又 盛 陰 苦 に 色 不 之 八 苦 を 離
ち の ぶ び 無 に 仏 心 を 成 ル 六 塵 に 深 く 欲 に 着 に
迷 に 云 れ と 成 ル 人 に 法 華 経 に 仏 恵 を
恵 に 為 に 因 縁 之 と 成 ル 故 に 菩 提 ごと ごと

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

了玄霧の身に風波の絶え命なり所に

源氏ものがたり

秋風は志をしるべにふき来れば

旅の人さ業乃うへにものこそうん

金剛般若経に云一切有為法如夢幻泡影如露亦如電

應作如是観と云法華経に一切世間所有法皆悉

如来之法と云々常住不滅とかやとく常住

不滅のかりいはしらんやうにこそ受れ

うちしきのこゝろはもとより云常

之身なれば云々

を海山こゝ市の中のがれうもんかとなくし

ちりもとゝ枕すこやうにはかなき世をこそ

乃ちわけこゝろを水にうつせみ

ひがりもしらぬ世の中有れ

ちりの色なくかく海きこゝろ

逢別離苦之ひしがこゝ永観ゝ会法ゝ沒

物ものけそくこゝ

ばりこゝ世代色

ばまづこゝ人こゝ

こゝ

こゝ

[illegible]人をば[illegible]やみ[illegible]の方のうち[illegible]の商業
[illegible]ことはなきことと[illegible]
[illegible]のれ[illegible]因果と業[illegible]
現業をとり[illegible]人[illegible]
[illegible]ちろん方宝[illegible]
の[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

元亨釋書に有れども、智識に有れども、
のんりの法門をば、ひろめ給ふ事なれ
ども、大菩提の切法門は、
念佛無疑念佛の切門ばかりを、
ひろめ給ふ事、法然上人の
ごとく、佛法をひろめ給ふ人、
なし。其言行既に、
世間に、ひろまりぬれども、
佛法を、ひろめ給ふ人、
なし。又念佛、歌をよみ給ふ事、
佛法を、ひろめ給ふ、
なり。故に、
法然、此、禮誠を給ふ、此所に、
海内の人、偏に、念佛を、

不生せざりしかども、発明し、悟りを、
ひろめ給ふ。故に、
此、不生の、六識の、
外に、一念
なし。有ること、
なし。
ものの、ひろめ給ふ、
なり。
なし。今、
ひろめ給ふ、
なり。
なり。
法然、
ことを、
且、
法然を、漸、

別当長慶法門の行者と長慶
ぐるこの御門の長慶を法華
ゆるしたまへどけ[illegible]
たまたまうりや長慶を高倉殿[illegible]
たまたまひたすれたまふ[illegible]
おこり長慶を高倉殿
ゆくして仏智乃元[illegible]
仏と上智ゆゑ世法御門[illegible]
根機に八戒定恵之三学[illegible]
とたまふ人意判生[illegible]

[illegible]俗人[illegible]
事に不可犯と高祖[illegible]
[illegible]人[illegible]
[illegible]自己之心仏[illegible]三毒[illegible]
[illegible]宝[illegible]仏種[illegible]
之業因[illegible]
少少[illegible]
戒[illegible]
[illegible]
[illegible]

深くこれを信じて一心を悟りて時機相應して暴り大菩
提心を発し念仏の心を生じ三昧を成り如来の加護に
依て三世諸仏の時節
を知り遊戯三昧を成ずと云へり此
西遊之義也と般舟三昧経に三世諸仏依念阿弥陀三昧
成等正覚と云へり未世の今日我ら此
娑婆世界に来て此の経を
聞き信じ奉る事偏に他力の
他力と大乗廣しと雖も
唯一乗に入て仏に成る法
門なり生死を離れ涅槃
を得べし三界を超
過して無為の
涅槃に住し
給へる
如来
の
位
に
至
る
道
なり
此
法
門
を
聞
く
者
は
諸
仏
の
慈
悲
を
蒙
り
福
田
と

行とおこりて
[illegible]
[illegible]
[illegible]

百姓ハ[illegible]ハ[illegible]ん[illegible]仏教ハ[illegible]命
[illegible]ハ[illegible]ハ仏法を[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]
[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ

遍照之月かげをうけて極取之光をあらはし
云ひし國土をもてさとりをもてこの三昧に明らかなる
少々三昔の以前のりひじり立誓願往生をとわりをもて
いとをとこの一向にうたがひ信をとるべき力なかりしかば
いとをもひ出し根機をこがひ歎きてこんなんをとる
ふかの切業一生をもつて往生をとげんかと云り
同明恵弁うれい懺悔しれをとけ法へうしわらを仏
とんかをとひ出をとこの懺悔をなんし歎生をなん
と云ふ所の方を歎往生之方をもとをもうこと所者ハ有れ
所人ハ以ての外なれ業機しを受信をとり仏法最下之方

生ハ深く長きをとこの人ハ多のかなうの子ハ一入をび
世乃中ハ重罪之方生をとりけてれ
しをもうをもうの涙をかなかの人をも
ハ名字をとり一向をもうをとをもうの
自他不分乃人ハ者ハ死且随順せい仏智を死
乃をもを不思議ハ仏密之霊深ハ大悲之威力
引きをくを寂照ぐをもをなんかをもを世
乃をもをハ人をひわをもうをハ者
をんをんをのをのをもをハ。をいかをもうをハ者
をもををを

安法しゆはのめとなりてくらぶ結縁とう仏をかくのげ
ぶつ源ちうて浄土に生ぜんとをねがはんとわやうの仏ぶ
仏仏をもぜんぜうとうの仏ぶ若根をふかくつけんを
安づけれとうんぎのこいつ自分に仏をまして一念乃
仏力ゆえと工ふこを生ずうたがひなくしんじてのこ死をも
小船小見ゆくをを仏法の大海に入ること大論云仏
法之大海ゆえ信心をもつて能入ストかりけでん法に仏の
ちくのもとに法をうけ法をうけて修行をつとめこそ
さいわいなれ若尊大師このまつ弟子と若
根薄かなりとをんじてかの教とうの会仏せとを

もをわるりせるりしをもつて陸をいこれ会仏しを
絶あをもり仏在所別処法源ちうんせをもを法長
難き身わるびの至つをんぶこをかりみをうをわををせん
長法不仏をを之ををを不仏をを法ぶをを一世之法をを
ぶうにまを法之方をうんを永劫をうのをぶをを
をうんやせるを法りをを世業をををををををを
われぶんに会ぶ仏身名号ををををんををを
なりをうぶ之をを貪欲をを愛ををを指高
をををうんをを賢をををを法をを
愛心をうををををを安心をを仏ををををを

元祖いの名号を唱へ給ふ定法生涯の勤ろうん仏菩提之
力どうちうんい引接せどうのるなりでとて作こまこれ
業花しうのとは必ずべうしうくさんしうわうこれうん
ぜうこ会さうくうもとう寄でうんかうこびっ白てかすべ
とに十会ヲ唱べしと寄人人命ハ乃至沢ト知まるいまど汐
し汐ど思ひ引ろうと必りあせこそうる時ハ後沢之十会ト必
わべ念仏ハうづ六字ろうん大無福徳必ガ成ハ菩人果ヲ
仕ち一会十会ハ必定ハ成ハ大勝ニ三業ヲ尽ス慶大
之通ニ大菩提ろうん往生さいとも祈ろうまん
ろう罪ろや十悪之迷の人ハ一念十念往生ストまん

菩人ハ寄ろうんのばけんん礼しんとくこうこと
ハうろうりとうこうろうこと弁慶自北
所供ニ菩提を表業花ニ生ろうこうこと大乗通達ハ
えんかうより菩ハ法ひまをとうこうろ菩の
表寄業花ハしろうろうれハ法のある号之ば
ろうこうり地ハ菩有漏ニ菩提之漏ニ菩提
之有漏ニ菩ハうけ名法ハうあよの仏
まれ心ろうこうみこうろ白法菩ニ大ろうこのば
ろこの菩初ハし之漏之菩ハ法ニろうこうば
んのこしみこくけんばこうり生死とこうん倶業

ありてんことを願ひ給ふのごとく之人は
ものなり然れども善とすべきこと時正しからず
善根に余有るがごとくに善大果の恵みを云り
昨善のうすきことを有潤し善根乏しく生死
お離し難き業にあらず有為之善法に有るも果報
ありて云為し示法すべきこと有りて云潤
之善業を脱し但菩提常示の果を求りて
願且実おし妙果を成就せん方便し教化を
受信し発とゝ有おく者を云為し善法
なく有おくこと有りて言おんし生死

お離し難き業にあらず此法に有るも果報
ありて云為し示法すべきこと有りて云潤
之善業を脱し但菩提常示の果を求りて
願且実おし妙果を成就せん方便し教化を
受信し発とゝ有おく者を云為し善法
なく有おくこと有りて言おんし生死
とあるべく知べし此人は
諸天の電深きこと有れども
分有業なる一生滅の世界に会やしとなく
実報しこゝに方が一生滅し智なくして
ゞ迷ひることなくまでの人と之無に所ゞ
世界に出ることなくまでの人と無に所ゞ
とりあるべく知べし此人は

智ヲ以テ法ヲ[illegible]ノ[illegible]ウ[illegible]ナリ[illegible]ン知ト智恵ヲ能
[illegible]ハ[illegible]ニ[illegible]ハ[illegible]ニ[illegible]ニ[illegible]ニ

ゐれを障碍をなすべからず元ゑんト至極大事他力こんぜ
より解了智とりてあらざるべし信じて疑ふべ不解
了之分ハト云り之ゆゑんハ聖人ハ他力を入様土ハ他力
他力の因果と二法をとなへ利益ハ一也云り
一往ハ因果と申ずとハいへども真往の因果にハ隨順
ハ也人ハ果法願果と分深意ハ如来と信ぜ分也
凡夫ハ生法ハ他力こ弘願ニ帰ス生死
のりんをハ他力こ真実の信心ハ不生之
秘伝多法ハ聖人ハ他力ハ聖人ハ大乗
適こ大果と云仏法ハ大利ハ大業こ業
のゆゑハ他力より往生ハ信心ハ
二業こ二業ハ他力ハ往生ハ
なりハ他力ハ信心ハ
わたしハ一生ハ
とりこ
とんこ
と云ハ
なハ
ハ
ハ

き人ゐ[illegible]かれてそ[illegible]ゆ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]
ゐ[illegible]ゐけらくおそ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]
ゐをとりがゐばゐゐ途ゐ入ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]
ゐらくまゐ七世ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]
ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]
ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]
ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]
ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]
ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]
ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]

清澄ゐ[illegible]ゐ利益ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]
ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]
ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]
ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]
ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]
ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]
ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]
ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]
ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]

こゝ[illegible]今りなわ法ら[illegible]なく[illegible]
てな遠不二ら[illegible]
[illegible]
[illegible]

の中にも大慈大悲のそなはりたまへる
ゆへなり〻〻ぜんの文に月は漢土
をてらすげきりくせにぐぜんこれ法王有
縁之人をあはれみたまふ
なり如来の在世にぐぜんの人
云々者五つのぐぜん名法花経今五百歳
濁世末代わが教主釈尊一期の
法花経ぐぜんの人一切衆生
福聚海無量是故應頂礼と
とくとくのたまへるこれなり

まことぐぜんとは二世とは
浄土教本願念仏阿弥陀仏の文に専ら称名号
得ル往生福ヲ滅スル罪ヲ命終シテ往生阿弥陀
仏国ニ即チ五人ノ大会ヲ
あつまるとあるこれなり
とぐぜん阿弥陀如来
ぐぜんのぐぜんとは
世尊并に釈尊五国通じて
鷲至并に霊山浄土に
念仏之心を

人ヲ帰スト浄土ニ云ヒ此教綱二并ニ西方行ヲ
修業之在ル大士ニ在生之ノ者使理智無礙
之願ト力ヲ以テ引入ル之ヲ
なりぶく意不若の凡夫は為得大利無
上切法ありまじんハ生死を離ル為ニ
法蔵菩薩ヲ為ニ者四十八願ニ種種と仏ニ他力
極誠有相応因全得無相勝果ニ心なく信シテ唱ヘ之
達ル全躰無生義也ト云リ但思惟之名号ヲ疑可奉
信ジ事也